

# 平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

## 第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年8月2日(土) 準決勝

Nコート 第1試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		8 - 26 20 - 17 21 - 18 24 - 28	89	チームB
<b>土浦日本大学</b>	<b>73</b>			<b>東京成徳</b>
茨城				東京

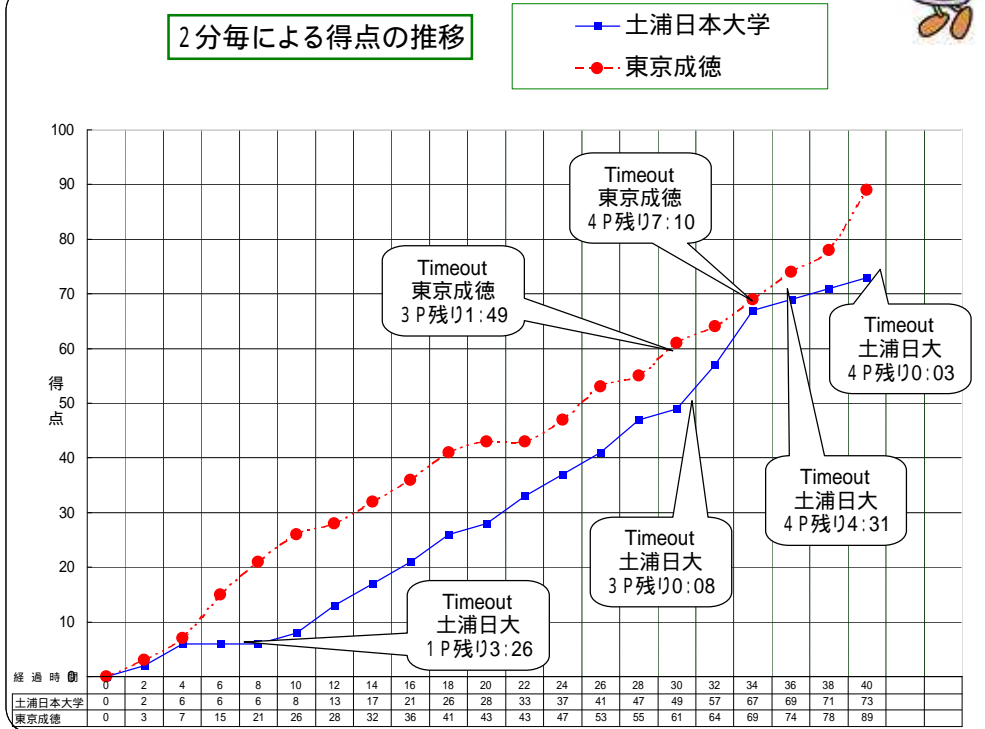
### 土浦日本大学

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	山田 祥子	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
5	橋本 千恵	✓	4	0	0	2	5	0	0	3	1	0	1	1	0	0	14
6	小沼 めぐみ	✗	13	0	3	6	10	1	1	2	0	6	2	4	5	0	40
7	淀野 潮里	✗	18	1	2	6	21	3	3	3	2	2	4	3	4	0	36
8	君山 舞夕奈	✗	10	2	6	2	5	0	0	4	0	3	1	0	2	0	40
9	近内 郁実	✗	20	3	7	5	10	1	2	0	0	4	1	5	1	0	37
10	飯田 朋美	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	高嶋 夏美	✓	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
12	西川 恵	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	谷村 咲姫	✗	8	0	0	4	10	0	0	5	0	3	0	1	0	0	26
14	伊藤 早紀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	沼尻 阿純	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	三須 由雄	✓	73	6	19	25	61	5	6	17	5	22	9	15	12	0	200
出場: ✗は先発、/は出場			確率	31.6%	41.0%	83.3%				計	27						

### 東京成徳

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	間宮 佑圭	✗	30	0	0	15	22	0	0	2	3	12	4	0	3	1	36
5	宮崎 優子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6	水野 圭子	✓	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	6
7	篠原 恵	✗	27	0	0	10	24	7	9	2	6	11	8	0	2	1	38
8	金子 実由紀	✗	5	1	4	1	5	0	0	1	0	2	2	0	9	1	40
9	山本 千夏	✗	14	0	2	4	8	6	8	2	1	4	4	0	6	1	36
10	工藤 安沙子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	野間 星来	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	小島 つばさ	✓	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
13	小山 結佳	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
14	小林 麻衣	✓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	森木 乃美	✗	10	2	3	2	4	0	0	2	2	6	4	1	3	1	38
コーチ	下坂 須美子	✓	89	4	10	32	64	13	17	9	18	44	23	2	23	5	200
出場: ✗は先発、/は出場			確率	40.0%	50.0%	76.5%				計	62						

### 2分毎による得点の推移



### 戦評

全国トップクラスのツインタワーを持つ関東地区1位の東京成徳と、1回戦から劇的な勝利をしりぞく決勝でも逆転で初のベスト4入りをした土浦日大の戦いが始まった。

第1P、両チーム激しいマンツーマンディフェンスで開始。土浦日大#13谷村がゴール下を決めると東京成徳#7篠原が速攻で走りシュートを決める。両者とも激しいリバウンドの取り合いで一進一退が続く。残り5分東京成徳#15森の3Pで10対6と土浦日大を突き放すと、その後も速い攻めから#7篠原、#9山本の得点を重ね26対8で東京成徳リードで終了。

第2P、東京成徳#9山本のドライブから得点を決める。土浦日大は#8君山の3P、#7淀野のドライブで追いつくが、高さで勝る東京成徳が#4間宮、#7篠原のリバウンドシュートで残り3分、38対23とリードする。土浦日大も粘りあるディフェンスから#6小沼、#9近内のシュートで得点を重ねるが43対28で東京成徳リードのまま後半へ。

第3P、土浦日大#9近内の3Pで開始。速攻から#13谷村のシュートも決まり10点差となり、リズムのいい出だしとなる。東京成徳はそれでも落ちついて#4間宮のシュートで土浦日大の波を止めようとするが土浦日大のリズムは止まらず、粘り強いディフェンスから#8君山の3Pなどで、残り2分8点差となる。その後も一進一退が続き、61対49で東京成徳リードのまま最終ドリフトへ。

第4P、残り8分土浦日大#9近内のパスカットからシュートファウルをもらいフリースローを入れ64対58と6点差に詰め寄ると#7淀野、#9近内のドライブで1点差となる。東京成徳も#4間宮のジャンプシュート、#8金子のドライブで逆転を許さない。残り3分土浦日大のセンター#13谷村が退場するといっしょに東京成徳のセンターが機能しはじめ、激しい試合は89対73で東京成徳の勝利で終わった。土浦日大は決勝に進出する事はできなかったが、応援席から聞こえる魂のこもった激励が生徒の心を動かす劇的な試合を繰り返した。一つ一つの勝利を重ね強くなった土浦日大に高校生のドラマを見た、すばらしい夏だった。ありがとう。

主審	山崎 人志	副審	清水 幹治	戦評	根本 靖雄 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット